

日本精線

だった前期比9・9%減の349億1000万円。コスト削減徹底と高機能・独自製品の売り上げ強化など採算改善に努めたが、損益面も減益となった」

——海外拠点の状況は。

精密濾機（常熟）は金屬纖維フィルターが好調で、19年12月期は元建で過去最高の売上高を計上。シャフト用クロム系ステンレス鋼線を生産している大同不銹鋼（大連）も、売上高は減少したが自動車向け賃加工が増加

は前期比約600ト減の2660トを計画しているが、建築用や産機向けの動向次第ではさらに下回る可能性もある。総量ベースの落ち込みは影響期間が長いことからリーマン・ショック時より大きくなるだろう。一方、

「最終年度にグループ連結経常利益55億円、連結ROS、連結ROAともに10%以上の達成を掲げ取り組んでおり、数値計画は未達となっているが、計画自体を見直す予定はない。今中計は、過去最高益を上げた201

—タイ精線の20年2月期業績は、売上高が40億8700万円の減収減益で、生産量は前期比5%減と、日本国内事業と似た状況となった。耐素龍

「非常に難しい。上半期は自動車関連需要が半減するという前提で、ステンレス鋼線の月間販売

に推移しているが、ともに当初想定水準にはまだ遠い状況だ」

——最終年度を迎えた第14次中期経営計画（NSR20）の進捗は。

給体制に

校舎、工場、大阪府校方)で、ばね用材や極細線の能力増強と製品倉庫新設や工場内物流の抜本的改善、超精密ガスフィルタ用1×2フィアの生産性向上にかけた設備改善を21年3月まで実施。本年度からは東大阪工場のもう一つの酸洗設備自動化や、タイ精練でのニッケルめっき工場新設に着手する。

——新商品・新技術の開発状況は。

綱織、高強度・高耐熱・高耐食ステンレス鋼線、タフステン、医療分野では国内であまり流通していない医療用規格材料 IN3304Vや、高強度・高耐食ニバルト合金、エネルギー分野では有機ハイドライド脱酸素方式による第3世代の水素発生ユニットや、精製分野に適用可能なバブル合金と並延箔を使うた水素分離膜ユニット、I/O分野では超精

高機能・独自製品を重視

——足元の経営環境認識から。

「ステンレス鋼線業界は、全業種の需要がスーパースайクルに入った。20年年初頭にはそれらもようやく落ち着くかと思われた矢先に新型コロナウイルスの感染拡大に

高機

能
独
自

製品を

重視

安定供

かったことは、ポリウレムゾーンの製品での商売はこれからさらに厳しくなり、環境・医療・エネルギー・IoT関連向け

強度導電ばね用銅系合金線（エレメタル e-Fine）など、用途開発とともに需要開拓を進めていきたい」

「20年3月業績は、ステンレス鋼線の月間平均販売数量が3,526トンと前期比20.0％減少、金剛繊維部の超精密ガラスフィルムナースクリンが下半期の在庫調整から急反転して売り上げを伸ばしたが、上半期の減収を補うには至らず、通期の売上高は過去最高値を記録した。一方で、産業用機械、家電・弱電



新貝元社長

半導体用ガラス
フィルムは
19年度後半か
ら大幅に回復
し、足元も好
調を継続、ス
クリーン印刷
用途の極細線
も5G関連向
けや太陽光発
電パネル需要
で比較的堅調

品の生産余力が全くなくなったことから「高機能・独自製品」の上方弾力性を確保・拡張と持続的成長のための生産基盤強化を旨とする『のスロ・ガソンのもとアクションプラン』を策定しており、これらの施策は一部若干の遅れはあるものの、ほぼ計画どおり進捗している」

より強固な安定供給体制に

テニレス鋼線
の工場建屋拡
張、中国で金
属繊維フィル
ター製品を製
造する耐素龍
精密濾機（常
熟）も真空熱
処理炉を増強
した」

「現在進行
中のものは、

ばしていくべきというところ。足元でも医療用の注射針や消毒液容器的ポンプなど細かな需要は出ており、いかに機材を積み上げていくかが重要だ」

「環境分野では当社独自の耐水素脆性ばね用ステンレス鋼線の高圧レシムSと二相系ステンレス

「ウイズコロナ、アフターコロナでの事業への取り組み方は、
「感染拡大防止の各種施策を徹底しながら、いまだBCM（事業継続管理）、BCP（事業継続計画）の観点からも事業体制に柔軟性を持たせ、需要家への安定供給体制をより強固にしていきたい」（福岡 紀子）